

NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

令和2年度 支部長等会議……………	1	海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動	
助成活動……………	2	表彰—稚内のみなとを考える女性ネットワーク—…	5
令和2年度 根室市総合防災訓練……………	4	事務局・支部体制……………	6
イベント紹介……………	5		

令和2年度 支部長等会議

事務局と各支部の情報を共有し、みなとサポート事業、みなとのパネル展、みなと座談会などの事業実施を円滑に進めることを目的に、毎年開催しています。

7月17日(金)正午からセントラル札幌北ビル5階、(一社)寒地港湾空港技術研究センター会議室にて、当機構支部長等会議を開催しました。会議の構成は当機構理事長、事務局長、事務局次長、札幌支部、函館支部、苫小牧支部、釧路支部の支部長及び支部次長の18名が参加しました。

開催にあたり中村理事長より「今年度は、新型コロナウイルスの関係でNPOの事業も中止や延期となっていますが、新型コロナウイルスが治まれば、いくつかの事業が実施できるのではないかと思いますので、その時は皆様のご協力をお願いします。」と挨拶をいただき、事務局長の説明により議事に入りました。

議事概要

- ①事務局・支部体制（事務局13名、各支部7名）
- ②事務局主要業務内容と実施状況
- ③みなとサポート事業の実施計画等（1件のみ実施予定であったが新型コロナウイルスの関係で中止）（6月現在）
- ④その他業務旅費支給規定

- ⑤グッズ作成配布（B6版ノート・ボールペン＆マーカー・シール）
- ⑥港湾キャラクター（着ぐるみ貸付事業）使用計画
- ⑦防災エキスパート登録者33名（6月1日現在）・連絡体制など
- ⑧助成事業（一般の部6件、特定の部2件）（新型コロナウイルスの関係で特定の部中止）
- ⑨その他・意見交換等、サポート事業の実施概要（各支部に記事及び写真のお願い）



支部長等会議

助 成 活 動

道内のみなとまちの活性化を目指し、企画・実施されるイベントなど、みなとまちで実施される様々な事業を支援し、さらなる「みなとまちの活性化」に寄与することを目的に「助成事業」を平成20年から実施しています。

13回目となる今年度においても、各開発建設部の「みなとの相談窓口」を通して推薦していただくと共に、当機構のホームページおよび広報誌「伝言板」で募集要領を掲載し、令和2年4月1日から令和2年5月7日にかけて募集しました。

評価審査委員会

今年度は新型コロナウイルスの影響もあって例年に比べて応募が少なく、一般の部6団体から6件、特定の部2団体から2件の申請がありました。

採択事業を決定する審査にあたってはコロナ禍のため、評価委員の寒地港湾空港技術研究センター理事長、学識経験者2名に郵便にて申請書を送付し当機構理事長を含めて評価審査を行いました。

審査の結果地域住民との連携、過去の開催実績などを考慮し、応募された一般の部6件と特定の部2件の8事業をすべて採択しました。

残念ながら今年度はコロナ禍のため各種イベントが開催されず中止となった事業もありますが、新型コロナの早期終息と各種イベントの再開実施を望むところです。

採択事業

(一般の部)

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	・ 漁港区の美化活動 ・ みなとコンサート ・ 女性みなと街づくり苦小牧	・ 苦小牧港漁港区のホッキまつりに合わせて、フラワーボットを設置し美化を推進する ・ 苦小牧市民文化団体協議会と協同して、みなとに立地する施設を活用し、演奏会とパネル展を同時に開催して港をPR	・ 8月・10月・12月 ・ ホッキ祭り中止 ・ 苦小牧港西港 フェリーターミナル ほか
②	・ 第3回江差いにしえバル街 開催事業 ・ 江差いにしえバル街実行委員会	・ 古くから港で栄えた江差町において、全国津々浦々で開催されている飲み歩きイベント「バル街」を開催し、地域の活性化と地域の良さを再発見できる機会を創出する	・ 9月 ・ 江差いにしえ街道



① 苦小牧港漁港区美化活動

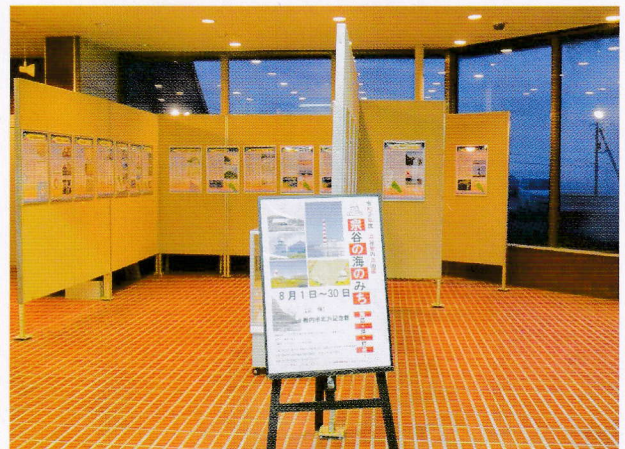


② 江差いにしえバル街

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
③	・ 深層水まつり ・ 深層水まつり実行委員会	・ 岩内町民や町内外の企業に向け、イベントを通じて、深層水の様々な活用方法や利用効果をPR ・ 深層水利活用ボードの設置のほか、タッチプールでのおさかな展示や豆知識の充実	・ 9月・3月 ・ 令和2年度中止 代替検討中 ・ 岩内町地場産業 サポートセンター
④	・ 紋別港防波堤 イルミネーション事業 ・ みなと・まちづくり女性 ネットワークオホーツク	・ 防波堤などにイルミネーションを設置し、景観を向上することで冬季の観光客の誘客及び周辺施設の利用促進を図る ・ オホーツクタワーに接続する親水防波堤などにイルミネーションを設置	・ 1月～3月 ・ 紋別市海洋公園
⑤	・ みなとオアシス歓迎事業 ・ 釧路港みなとオアシス協議会	・ スタッフウェアの「法被」を作成着用し、市民及びクルーズ客への「みなとオアシス」おもてなし事業の周知及び活動のPR ・ 「法被」の持つ「祭り」のイメージを活かし市民が港へ足を運びたい雰囲気を作る	・ 7月27日以降 ・ 釧路港旅客船 ターミナル
⑥	・ 稚内管内巡回展「宗谷の海のみち―海路・港・灯台―」 ・ 稚内管内学芸職員連絡協議会	・ 宗谷の近代化に大きな役割を果たしてきた海路・港・灯台にスポットをあて、管内市町村における海にまつわる様々なエピソードや発展の歴史など、「海のみち」を通して宗谷の近代化を探り、地域の歴史を理解	・ 5月・2月 ・ 宗谷管内各市町村 役場及び関係施設



⑤ 釧路みなとオアシス「法被」着用による活動



⑥ 稚内管内巡回展

(特定の部)

	活 動 名 団 体 名	活 動 目 的 活 動 内 容	開 催 日 開 催 場 所
①	・ むろらん港鉄人舟漕ぎ大会 ・ むろらん港鉄人舟漕ぎ大会 実行委員会	・ 港に対する市民の理解を深め、多くの人に交流の場を提供することで、地域活性化に寄与する ・ 漕ぎ手6名、艇長・旗持ちの8人が全長150mのコースをタイムで争うレース	・ 令和2年度中止 ・ 室蘭港 入江地区中央ふ頭
②	・ みなと南極まつり稚内副港 ボートレース2020 ・ 稚内地元愛育成協議会	・ 稚内港を市民と連携した交流拠点機能を拡充するためボート競技のイベントを開催し、にぎわい交流拠点の確立を目指す ・ 漕ぎ手8名、音頭、舵とりの10名が往復160mのコースをタイムで争うレース	・ 令和2年度中止 ・ 稚内港第一副港

令和2年度 根室市総合防災訓練

根室市防災会議が主催する「根室市総合防災訓練」が「防災の日」の9月1日に根室港花咲地区東埠頭マイナス10m岸壁において実施されました。

根室市防災会議は根室市、航空自衛隊第26警戒隊、陸上自衛隊第5旅団第27普通科連隊、根室海上保安部、釧路地方気象台、北海道森林管理局根釧東部森林管理署、北海道開発局釧路開発建設部、北海道根室振興局、北海道根室振興局保健環境部（根室保健所）、根室警察署、北海道釧路総合振興局釧路建設管理部根室出張所、東日本電信電話(株)北海道支店、(株)NTTドコモ北海道支社、北海道電力ネットワーク(株)根室ネットワークセンター、日本放送協会釧路放送局、根室市女性防火クラブ連絡協議会、根室市消防団、根室市消防本部、根室市教育委員会の19機関からなり、さらに協力機関の海上自衛隊大湊地方隊、第一管区海上保安本部釧路航空基地、根室・花咲港における船舶異常気象等安全対策協議会、北海道港湾空港建設協会、NPO法人北海道みなとの文化振興機構（防災エキスパート）、根室市建設協会、根室市電気設備業会、(株)根室市民ラジオ、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(福)根室市社会福祉協議会、根室市危険物安全協会、根室アマチュア無線クラブ、根室市町会連合会の13機関が協力し、新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら13時から15時まで整然と行われました。

訓練の目的は、根室市は国内有数の地震多発地帯であり、これまで幾多の大地震に見舞われ、市民生活や地域経済活動に大きな打撃を受けた経緯や、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓と

して、全国的にも今までの防災対策を見直すことが求められている状況から、今後起こりうる地震・津波災害を想定し、災害発生時における関係機関の迅速な初動体制の構築、また各種の2次災害に対処するため、根室市地域防災計画に基づく通信・避難・消火・救助等の訓練の実施、各関係機関との緊密な連携の強化や、総合的な防災活動の効率的な実施並びに広く防災思想の普及を図ることです。

地震想定は13時15分、根室半島南東沖で推定マグニチュード8を超える巨大地震が発生し、根室市において震度6弱の強い揺れと大津波警報を想定し、災害対策本部構築訓練・緊急出港訓練・情報伝達訓練・津波対策訓練・地震津波情報伝達訓練・避難誘導広報訓練・倒壊家屋救出救助訓練・孤立住民救助及び負傷者吊上げ搬送訓練・車両事故救出救助訓練・緊急物資海路輸送訓練・海面漂流者連携救助訓練・避難行動要支援者搬送訓練・連携消火訓練・港湾巡視被災状況調査訓練等計35項目の訓練が実施されました。

東地区担当の防災エキスパート5名と開発局職員1名が被災状況調査訓練に参加し、根室港湾事務所第1工務課長の調査開始の号令により東埠頭マイナス10m岸壁のエプロン舗装の陥没状況をレベル測量班3名とテープ測量班3名の2班で行い、被災状況の調査報告を行い終了しました。



根室市総合防災訓練開会式



被災状況調査訓練

イベント紹介

紋別港「遊びたガリヤフェスティバル」の開催

ゲームを通じ海・港の魅力を知ってもらう「遊びたガリヤフェスティバル」が、みなとオアシスもんべつ運営協議会主催により8月8日に「オホーツクもんべつホワイトビーチ」で開催されました。今年は、コロナウィルスの影響で「もんべつ港まつり」など、多くのイベントが中止される中での開催と言うこともあり、多くの家族連れで賑わいました。

会場には手洗い、消毒場所の設置、参加者の検温、

連絡先の記入など感染対策に十分配慮した上での開催となりました。

非接触を図るためルールを変更したものもありますが、例年と同様の「宝探し」「ビーチフラッグ」のほか、紋別のホタテの貝がらを使った「ホタテフリスビー」や「ホタテ積み」など盛り沢山の競技が行われました。

雨が降り気温も低くあいにくの天候でしたが、紋別の短い夏を楽しむことができました。



海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰 —— 稚内のみなとを考える女性ネットワーク ——

北海道開発局では、港湾空港整備事業の推進を目的として、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」を平成18年から実施しています。

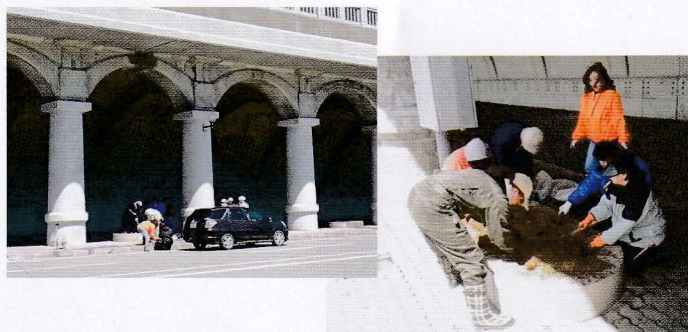
今年度の表彰は、平成15年から毎年5月にボランティアで「稚内港北防波堤ドーム内に設置された花壇の雑草を取り除いた後、土を入れ替えてアルメリア等の植樹を実施して環境美化に貢献している」として港湾管理者の稚内市長より推薦のあった、稚

内のみなとを考える女性ネットワーク（代表 岩本明子氏）に決定し、7月20日に稚内開発建設部において表彰伝達式が行われました。

表彰伝達式では、稚内のみなとを考える女性ネットワークの岩本代表から、「一年一年積み重ねてきたことが認められたことに感謝。企業や協力団体の皆様にも感謝の気持ちを伝えたい。」と受賞の喜びのお話がありました。



表彰伝達式



活動状況



■ 事務局・支部体制

令和2年度の事務局体制について、7月に2名が退任し、新たに1名の方が参加し12名で活動しています。また、苫小牧支部と釧路支部において役員が変更となっております。引き続き活力あるみなとまち作りを会員の皆様と共に進めてまいりますので、ご支援、ご協力お願いいたします。

事務局

役職	氏 名	役職	氏 名
事務局 長	福 岡 康 宣	事務局次長	高 田 稔 年
事務局次長	東 志 郎	事務局次長	秋 葉 洋 一
事務局次長	市 来 隆	事務局次長	宮 部 秀 一
事務局次長	三 原 一 憲	事務局次長	渥 美 洋 一
事務局次長	斉 藤 賢 悦	事務局次長	鈴 木 一 行
事務局次長	大 前 豊	事務局次長	上 川 功 一

支部

役職	氏 名	役職	氏 名
札幌支部長	石 島 隆 司	苫小牧支部長	秋 葉 洋 一
札幌支部次長	澤 合 英 治	釧路支部長	本 間 久 雄
函館支部長	川 村 求	釧路支部次長	佐 藤 浩 彰
函館支部次長	鈴 木 勝 晴		

事務局連絡方法

当機構事務局への連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710 E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこともございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人

北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号
セントラル札幌北ビル5F